発行　高雄・気良青年歌舞伎実行委員会

高雄（たかお）・氣良（けら） 地歌舞伎

かわら版

五号

郡上の歌舞伎、新しい歩みがはじまる

平成二十九年の高雄歌舞伎・気良歌舞伎公演日程

今年の高雄歌舞伎・気良歌舞伎の公演日程が決定いたしました。演目はまだ正式決定はしておりませんが、今年も皆様に楽しんでいただけるよう一生懸命稽古いたしますので、是非ご覧ください。

2017年　公演予定

- 9/16（土）　気良白山神社祭礼　気良歌舞伎　会場　明宝コミュニティセンター　郡上市 明宝 二間手532
- 9/30（土）　高雄神社祭礼　高雄歌舞伎　会場　口明方小学校　郡上市 八幡町 市島913
- 11/19（日）　高雄・気良青年歌舞伎　会場　郡上市総合文化センター　郡上市 八幡町 島谷207-1

岐阜県「地歌舞伎推進プログラム」

現在、国では二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化芸術立国の実現に向けて文化プログラムを推進しています。岐阜県でも二〇一五年に誕生した「ぎふ清流文化プラザ」を活用し、二〇二〇年に向けて岐阜県の誇る「地歌舞伎」を県内外に強く発信していく方針を掲げています。

具体的には二〇一六年～二〇一九年に「地歌舞伎推進プログラム」として毎年複数団体による地歌舞伎公演を開催して機運醸成を図るとともに、二〇二〇年には岐阜県下全域の地歌舞伎保存団体が一堂に会した公演の開催が予定されております。

気良歌舞伎一座が「岐阜県地歌舞伎保存振興協議会」に加盟

平成29年5月23日に開催された岐阜県地歌舞伎保存振興協議会総会において、気良歌舞伎一座の加盟が承認されました。

岐阜県には地歌舞伎団体が数多くあり、全国最多とも言われております。高雄歌舞伎保存会も加盟している同協議会には、これまで県内29団体が加盟しておりましたが、新たに気良歌舞伎一座が30団体目として加盟することとなりました。

気良歌舞伎
3代目座長
髙田 新一郎

今年も！「気良歌舞伎展」開催

昨年、明宝歴史民俗資料館に隣接する木造講堂にて「気良歌舞伎展」と題して地歌舞伎の衣装、小道具等の展示、公開稽古、演目解説等をいたしましたところ、多くの方に足を運んでいただくことができました。

本年も、4月より同講堂にて「気良歌舞伎展」を開催しております。今回は昨年設置した常設舞台に加えて「定式幕」や「のぼり旗」などを設置し、より地歌舞伎の雰囲気を感じていただけるような会場となっております。

はじめての方はもちろん、昨年、来てくださった方も再度楽しむことができるように工夫しておりますので会場に足を運んでいただけると幸いです。

写真※28年 気良歌舞伎　寺子屋　戸波

地歌舞伎コラム

シリーズ農村舞台探訪 ①

「福島県・檜枝岐（ひのえまたむら）村の歌舞伎舞台」

今なお日本各地には、農村舞台が残っている。中でも足を踏み入れた瞬間、歴代の役者、観客達の情熱がぐっと胸に迫ってくるような珠玉の舞台。そんな“一度は訪れてもらいたい”農村舞台を紹介するシリーズ。

福島県は奥会津・檜枝岐村。

今では尾瀬の北の玄関口として、また、日本百名山である会津駒ケ岳、燧ケ岳の登山口として利用される村であるが、平家の落人が住み着いたという伝承がある静かな山間の村である。

この人口約六百人の村で江戸時代から二七〇年以上続けられているのが村人たちによる歌舞伎である。南会津町から川沿いに走る主要道を通ると思わず通り過ぎてしまいそうな細い神社の参道がある。参道を歩くと奥州安達ケ原三段目の袖萩とお君の像が立っている。降り積もる白い雪に親子の情愛が際立つ名シーンを切り取った像だ。さらにその奥へと歩くと檜枝岐村の歌舞伎舞台が建つ。茅葺の建物には舞台から花道が取り付けられている。小さな建物ではるが歴史の重みを感じる佇まいである。舞台から見て正面には石段の上に鎮守神社の社があり、奉納歌舞伎という神事の一環としての歌舞伎上演がより強く感じられる。観客席は石段をうまく利用する形で後ろになるほど高い位置から舞台を見下ろすことができる。

人口六百人のこの村に公演の際には千二百人の観客が押し寄せるというから凄い。参道脇に建てられている資料館の館長にお話をうかがうことができた。「とにかく歌舞伎を伝えていくこと。子供達のうち、ひとりでもいいから〝いいな〟〝小さいころやったな〟と思ってくれて次に伝えてくれれば」という言葉が印象的であった。

『岐阜県地歌舞伎保存振興協議会』とは

岐阜県の地歌舞伎保存団体が協調して、地歌舞伎の保存と親交を図り、地歌舞伎保存団体の活性化を図るとともに、県民文化の向上、地域の活性化に資することを目的とし、岐阜県内30団体が加盟している。

地歌舞伎の保存・振興方策の調査・検討、飛騨・美濃歌舞伎大会の開催その他地歌舞伎の保存振興に関する事業を行っている。

編集後記

昨年、四号にわたって発刊した高雄・気良地歌舞伎かわら版ですが、好評につき今年も発刊させていただくこととなりました。今年も皆様に興味をもっていただけるような記事を掲載していきたいと思います。

さて、今年はオフシーズンを利用していくつかの農村舞台を訪ねてきましたのでコラムにて紹介していきたいと思っております。現在、高雄歌舞伎・気良歌舞伎ともに常設舞台での公演は行っておりませんが、神社拝殿や芝居小屋での地歌舞伎も雰囲気があって良いものです。県内には数多くの芝居小屋が残っており、そこでの公演もあります。皆様もぜひ足を運んでその雰囲気を味わってみてはいかがでしょうか。

（気良歌舞伎一座　澤）

高雄・気良 地歌舞伎かわら版

五号（平成29年6月号）
発　行
高雄・気良青年歌舞伎実行委員会

問合先　気良歌舞伎事務局
kerakabuki@gmail.com
検索【気良歌舞伎】
明宝振興事務所 (0575) 87-2211
明宝公民館 (0575) 87-2016

最新情報 Facebook